【大阪ガスケミカル、分子篩炭技術で日本吸着学会技術賞を受賞】

大阪ガスケミカルはこのほど、2026 年度日本吸着学会技術賞を受賞しました。同賞は、日本吸着学会の維持会員企業に所属する技術者または技術グループが開発した優れた技術に対して授与されるものです。

同社は長年にわたり分子篩炭（CMS：Carbon Molecular Sieve）の製造・販売を手掛けており、窒素精製を始めとしたガス分離精製分野において PSA 装置※メーカーへグローバルに製品を供給しています。特に近年ではバイオガス精製用途での販売に注力しており、アメリカを始め世界各地のバイオガスプラントにおいて当社の分子篩炭が使用されています。

同社では、バイオガスの一種である埋立地から発生するランドフィルガスの分離・精製に特化した新たな分子篩炭の開発に成功しています。ランドフィルガスにはメタンに加え不純物として主に二酸化炭素、窒素が含まれており、従来の分子篩炭を用いた場合、高純度メタンを回収するためには 2 段階の分離工程が必要でしたが、同社が開発した新製品では 1 段階での分離・精製を可能にしました。また、本技術に関する研究成果は 2025 年に米国化工学会で発表しています。

今回の受賞は、バイオガス精製用途への事業展開並びに新規用途に向けた技術開発の成果が高く評価されたものです。

本技術は、バイオガスプラントのプロセス簡素化や設備コストの低減に寄与し、ランドフィルガスの有効利用拡大を通じてカーボンニュートラル社会の実現を推進する技術として期待されます。

※PSA（Pressure Swing Adsorption）装置：ガス成分の吸着しやすさの違いを利用して、酸素・窒素・水素などのガスを効率的に分離・精製する装置。

■大阪ガスケミカル株式会社 概要

設立　　：1931 年 9 月
代表取締役社長：榊谷　武史
本社所在地　：大阪市西区千代崎三丁目南 2 番 37 号
事業内容　　：ファインケミカル材料事業、保存剤事業、炭素繊維材料事業、活性炭事業
URL　　：https://www.ogc.co.jp/